

継続事業

番号	事業（仮名）	事業概要	事業費	備考
1	若者定住奨励金	定住促進を図るため、作手地域自治区の区域内に転入、転居した者、及び出産した者で、住所を定めてから3年度が経過した45歳以下の者を対象に奨励金（いいじゃん券 19,000 円分）を交付する。	342 千円	令和 10 年度に事業終了
2	つくでっ子元気事業	小中学生の学習意欲の向上及び地域の人たちとの交流を図るため、スポーツ・文化・芸術の講演会、講習会、観賞会等を行う。	872 千円	令和9年度継続見直し
3	保育所英語講師派遣事業	魅力ある作手地域の教育を目指すため、作手こども園の園児(3 歳児から 5 歳児まで)を対象に、英語の手遊び、歌、絵本の読み聞かせ等、英語に親しむ機会づくりを行う。	275 千円	令和9年度継続見直し
4	小学校英語教育推進事業	魅力ある作手地域の教育を目指すため、作手小学校 1・2 年生を対象に、英語遊び、歌、絵本の読み聞かせ等、英語に親しむ機会づくりを行う。また、3、4 年生の英語活動、5、6 年生の英語授業を支援するため、アドバイザーを派遣する。	961 千円	令和9年度継続見直し
5	防災活動補助事業	住民による自発的かつ積極的な防災組織活動の展開を促すため、防災機材等に係る既存補助金の上乗せ補助を行い、行政区負担の軽減と、地域住民の安全安心を図る。	172 千円	令和9年度継続見直し
6	地域集会施設整備費補助事業	自治活動又はコミュニティ活動の活性化を図るための拠点となる地域集会施設の新築、増築、改築又は改修に要する経費に対し交付する補助金の上乗せ補助を行い、行政区負担を軽減する。	700 千円	令和9年度継続見直し
7	地域安全灯設置補助金事業	地域安全灯の設置（LED 化）に係る既存補助事業の上乗せ補助を行い、行政区負担分の軽減を図る。地域安全灯の設置を推進し、地域住民の安全安心を図る。	25 千円	R8年度事業終了
小 計			3,347 千円	

新規事業

番号	事業（仮名）	事業概要	事業費	備考
1	防災意識向上事業	地域住民の防災意識を向上を図ることを目的に、能登半島被災者を講師に招き、防災講座を開催する。講座開催により、災害時に必要な地域の体制づくりを学び、各行政区で体制づくりを進めていく。	84 千円	
2	防災倉庫の備品整備 （指定避難所）	作手地域は山間地域であり、災害時に孤立集落となる可能性が高い。市の指定避難所にある備蓄食料は 2 日分確保となっているため、追加で整備する。	1,435 千円	
3	観光施設整備 歴史の小径 文珠山展望台修繕	作手地域の観光資源である「歴史の小径」の物見櫓が老朽化により使用できない状況なので、修繕を実施し、歴史の小径の活用を図る。	2,258 千円	
4	作手の魅力発信事業 道の駅情報館の整備	市内外から多くの観光客でにぎわう「つくで手作り村」だが、情報館の活用がほとんどされておらず課題となっている。情報館を整備し、作手地域の情報発信力を強化することで、地域活性化に繋げる。	338 千円	
小 計			4,115 千円	